

イサム パックシステム専用スプレーガン

PAC-530-5 (ファイブ)
TYPE-V

取扱説明書

発売元

イサム塗料株式会社

本社/大阪市福島区鷺洲2-15-20 〒553-0002

製造元

アネスト岩田株式会社

本社/東京都渋谷区恵比寿南1-9-14 〒150-0022

この度は、イサムオリジナルスプレーガンをお買い上げ頂き、誠に有難うございます。

【はじめに】

- この取扱説明書はスプレーガンの使用方法と使用上の注意事項について記載しております。ご使用前には必ず取扱説明書を十分お読みの上、正しく御使用ください。
- お読みになった後も必ず製品に近接して保存してください。
- 製品を貸与または譲渡される場合は、この取扱説明書を製品に添付してお渡してください。
- この取扱説明書を紛失または損傷された場合は、速やかに当社、または特約店に御依頼ください。
- 尚、品質、性能向上あるいは安全上、使用部品の変更を行うことが有ります。その際には、本書の内容及びイラストなどの一部が、本製品と一致しない場合がありますので予め御了承ください。
- ご不明な事や御気付きの事がございましたら、お買い上げの特約店、販売店に御相談ください。
- △印付の下記マークは、安全上、特に重要な項目ですので必ず守ってください。



この表示は取扱を誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性があることを示します。

1. このスプレーガンはイサム塗料(株)パックシステム用に開発・製造されたものです。決して別の用途に使用しないで下さい。またお子様の手の届かない所に保管・管理して下さい。
2. スプレー作業は、必ずブース設備及び換気が十分に整った場所で行ってください。密閉された部屋もしくは換気が不十分な場所で作業されますと作業者が使用塗料により有機溶剤中毒を引き起こす危険性があります。
3. 決して火気のそばもしくは引火の恐れのある場所では、スプレー作業をしないでください。密室で有機溶剤分が充満しますと火災、爆発の危険があります。静電気が発生しない様に制電防塵服・静電靴の着用をしてください。
4. スプレーガンにカップ及び、空気ホースを接続する時は、スパナ等を使い十分に締めつけて下さい。取付けが緩いと使用時に加圧エア及び塗料または各種液体が人体、塗装物、その他周辺機器に散り、被害をおよぼすことが有りますのでご注意ください。
5. 空気ホースの接続は、それぞれの流体に合った材質を使用して下りますので、決してその用途以外での使用は避けて下さい。また、ホースの耐圧規格以上の使用及びキズ等で痛んだホースはご使用にならないでください。
6. 決して、人や動物に向かってスプレーしないでください。スプレー物により口や目に入りますと中毒や炎症の原因となります。
7. 吹付空気の噴射音が85dB(A) 以上の場合での使用時は、耳栓を使用して下さい。

【梱包内容】

- (1)スプレーガン・・・・・・・・・・ 1丁
 - (2)六角レンチ・・・・・・・・・・ 1本
 - (3)取扱説明書・・・・・・・・・・ 1冊
- *破損品・不足品がありましたら、お買い上げの特約店、販売店に御相談ください。

【ご使用方法】

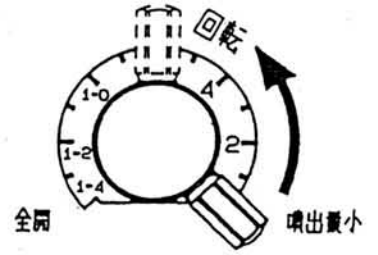
吹き付け塗装面の良否はスプレーガンの取扱いに左右されます。性能を十分に発揮させるために次の事項を守ってください。

- (1)カップ及びエアホースは、スプレーガンにしっかり取り付けてください。
- (2)使用空気圧力は塗料の粘度、性質により異なりますが、0.1~0.3Mpa範囲に設定してください。

注意・・ご使用前は必ず空気量調節装置(14)を一杯に締めしてからエアホースを接続して下さい。
最大目盛0.4Mpaの微圧圧力計を使用しておりますので、故障の原因となります。



- (3)塗料粘度は、塗料の性質、作業条件により異なりますが、粘度カップにて 8～13秒程度が適当です。
- (4)吹付距離は、10～20cmが適当です。吹付距離を近づけ過ぎたり、遠過ぎたり、円弧移動などをして塗装しますと塗装面にタレ、スケ、ムラ等が生ずる原因となります。
- (5)塗料噴出量の調整は塗料調節つまみセット(24)で行います。
塗料調節つまみセット(24)のレバーを後方にある目盛板(21)の数字に合わせて、右一杯に回しますと(目盛0)塗料の噴出量は最小になり、逆に左へ回しますと、徐々に噴出量が増加しレバーいっぱいまで全開(目盛1-4)になります。
- (6)パターンの調整はパターン調節装置(6)で行います。右一杯に回しますと丸吹きパターンとなります。逆に左に回しますと、徐々に平吹きパターンとなります。



【保守・点検】

スプレーガンの性能を長く維持するため、また次の使用に備えるためには、使用後のお手入れが是非とも必要です。

- (1)カップに残っている塗料は別の容器に移し、カップに少量の溶剤を入れてブラシで内面を洗った後、吹付けの要領で溶剤を噴出させる。この作業を2～3回繰り返しますとスプレーガンとカップの塗料回路がきれいに洗浄できます。

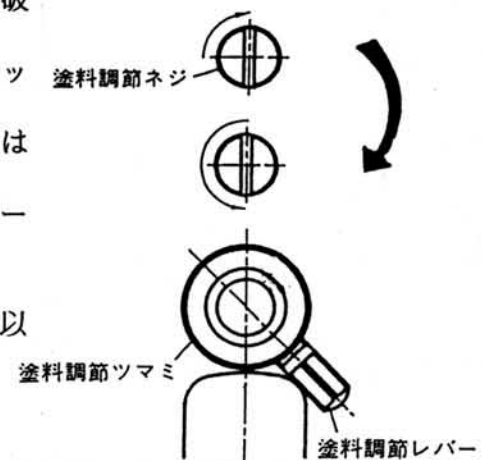
注意・・硬化時間の早い塗料が増えています、吹付後直ちに洗浄下さい。

- (2)スプレーガンの洗浄溶剤は、きれいな溶剤をご使用ください。塗料回路に塗料カス、ゴミ等が入りトラブルの原因になりますし、スプレーガン及びカップ内に洗浄溶剤が残った状態でそのまま塗装に使用しますと塗装不良の原因となります。
- (3)空気キャップ(1) 塗料ノズル(2-1) 及び塗料ニップル(5-2) に付着している塗料は溶剤に浸し、ブラシで洗い落としてください。この時、空気キャップ、塗料ノズルの各噴出穴及びニードル弁(2-2)は絶対に傷を付けないでください。

注意・・ 1.ガンウォッシャー(自動洗浄機)等でガン全体のお手入れをする時は必ず圧力計(26)を外してから行って下さい、圧力計の故障の原因となります。またガンウォッシャーを使用される場合は、洗浄ノズルを塗料回路につないでください。エア回路につながりますとエア回路に塗料カス等が入り、正常な使用が出来なくなります。

2.洗浄・分解または保守作業をする前に必ず残圧を抜いて下さい。残圧がありますと部品や塗料の飛散により、人体に危険があります。

- (4)圧力計(26)は、絶対に塗料・シンナー等に浸漬しないで下さい。故障・破損の原因となります。
- (5)空気キャップ(1) をセットする時は、塗料ノズル(2-1) 先端を空気キャップ中心穴に沿うようにして締付けて下さい。
- (6)ニードル弁セット(2-2)、塗料調節つまみセット(24)の部品交換もしくは分解組立、再調整する場合は、塗料調節ネジ(23)を全閉してから 180°(1/2回転) 開いた位置から右図の様に塗料調節つまみセット(24)のレバーを目盛板の0の位置に合わせて、塗料調節レバーをロックします。
- (7)塗料ノズル(2-1) 脱着の際には、塗料調節つまみセット(24)を 1/2回転以上ゆるめた状態で行って下さい。



注意・・ 1.スプレーガンの改造は絶対しないでください。故障の原因となります。

2.スプレーガンの整備に係わる交換部品は、必ずアネト岩田純正部品を使用して下さい。

PAC-530

TYPE-V

部品表

部品名称

No.	名称	個数
1	空気キャップセット	1
2	ノズル・ニードルセット	1
2-1	塗料ノズル	1
2-2	ニードル弁セット	1
3	ニードル弁パッキンセット	1
4	ニードル弁パッキン押し	1
5	本体セット	1
5-1	空気ニップル	1
5-2	塗料ニップル	1

No.	名称	個数
6	パワ-調節装置	1
6-1	止め輪	1
6-2	平座金	1
6-3	バックリング	1
7	空気弁シートセット	1
7-1	Oリング	1
8	空気弁	1
9	空気弁バネ	1
11	ニードル弁バネ	1
13	空気弁棒	1
14	空気量調節装置	1
15	引金止め軸	1
16	引金	1
17	E型止め輪	1

No.	名称	個数
18	専用六角レンチ	1
19	取扱説明書	1
20	塗料調節ガイド	1
21	目盛板	1
22	六角ナット	1
23	塗料調節ネジ	1
24	塗料調節ワッシャー	1
25	パッキン	1
26	圧力計	1

*No. 2・5・6・7の部品供給は組込セットしか出荷できませんのでご注意ください。

